

大阪・関西万博開催に向けた御意見

御所属 マッスル株式会社 代表取締役

御名前 玉井 博文 様

1. 2025年の大阪・関西万博に何を期待しますか。

(是非すべきこと、また、するべきではないこと、後世に残すべきもの等)

- 高齢化社会においても、若者が希望を持てるような楽しい生活が実現できている様子を世界中の方々に見て頂きたい。

65歳以上を高齢者扱いとするのは現実には即していない。65歳以上でもバリバリ働けるグループと介護が必要なグループに分け、是非働けるグループには働いて頂き、稼いで納税者となって頂けば良い。もちろん計算能力や体力等、多少機能的に衰えている事もあるだろうが、それを技術や機器等で補えば、十分働き手として活躍して頂けるはず。

若者だけに負担がかかるのではなく、年齢に関係なく生き生きと暮らせる社会を目の当たりにすれば、若者達にも同様に生き生き人生を全うできる確信をもってもらえるはず。

- 関西全域テーマパーク化。

万博の会場となる予定の夢洲だけでなく、あらゆる企業や施設、その他にご協力頂き、会場以外でもあちこちで2025万博を楽しんで頂けるしかけを作る。

テーマパーク化のキーは、“人”。

ハードに偏りすぎず、関西のゆるーい感じを大切に、人との距離の近さをアピール。

放っておけない関西人の気質を大いに発揮すればよい。翻訳機を利用するなり、筆談するなり、関西人ならありとあらゆる手法で見ず知らずの人達と交流できるはず。

2. 大阪・関西万博で見せるべきコンテンツは何でしょうか。

(例：最先端技術の実証、SDGs達成への貢献、ライフサイエンス分野との連携等)

- 日本/日本人の素晴らしさ。(おもてなしの心)

鉄道の運営や普段のマナーをはじめ、あらゆるところに利用者を配慮した気遣いがある日本のおもてなしの心を知らしめ、体験して頂く。

実際にメルボルン訪問時に現地の方から、新幹線乗車時に前席の女性が事前に背もたれを倒して良いかと後ろのご本人に日本語で確認してきたことに感動したとの話をされた事がある。

常に他人や相手を意識して行動できる日本人の素晴らしさがあるではないか。

ハード的な事じゃなくても、このような日本人ならではのソフトのアピールで十分インパクトがあるはず。むしろ、ソフト面の方が“おもしろい”と思われる。

- 関西/関西人の素晴らしさ。(人懐っこさ)

日本人の素晴らしさに加えて、関西特有の素晴らしさもある。

関西は手頃なコミュニティサイズで、各業界のトップレベルの方との距離も近く、一旦輪の中に入ってしまうと、次々と紹介して頂く事で世界が広がる。人同士の距離も他地域と比較して極端に近く、面倒見のよい地域性がある。とにかく“人”が好き。

地元以外の人でも、関西滞在中に関西人に親近感を感じ、地域の一員として楽しんで頂けるはず。このラテン系特長をもっとアピールすべき。

- 先端医療・ロボット等の体験展示
先端医療やロボットとの共生を実際に体験して頂ける場をあちらこちらで展開。
これら先端医療やロボットがある事で、より人らしい生活を提供でき、あくまでも人が中心の社会であることを再認識して頂けるはず。
年齢に関係なく生き生きとしたライフスタイルを謳歌できることを提示したい。
- 3. 会場計画及びインフラ整備について、新たなアイデアや御意見をお願いします。**
(例：会場のデザイン、水面や緑地の利活用、待ち時間のない万博とするための手法、災害対策、暑さ対策等)
- 点から面へ⇒街全体が会場。周辺都市も巻き込む。
開催会場だけが会場ではなく、街と言わず、周辺全てが会場となり得るしくみを計画。
それぞれの地域の良さをきちんと伝え、個性を味わいに出かけて頂けるようにする。
例えば弊社ショールームを開放し、誰でもロボットを気軽に視察して頂く事も可能。
東大阪の工場エリアも開放して頂き、ロケットの部品製作現場やその他もろもろの現場を体験して頂けるツアーがあっても良いはず。
強いて言えば、関西エリアだけにこだわらず、日本全国が会場の延長線となっても良い。
 - 時間軸⇒会期中だけでなく、EXPO 前後の準備・実行・運営全てを連続して。
EXPO 開催前からコンセプトに沿ったコンテンツを少しずつ展開しながら、開催中はもちろん閉会後も引き続き人を呼び続けられるしくみを計画。開催前からインバウンダーに予告し続ける事で、ロコミで 2025EXPO の宣伝に繋がるはず。始まる前から「ワクワク感」を与えられるような企画としたい。2020 ドバイ EXPO でも始まる前から大阪 EXPO への期待感を煽れるような企画とし、それ以降も徐々に 2025 大阪 EXPO をより具体的に想定できる内容を発信しつつ、閉会後もさらに発展し続ける様子を見に訪れたい内容とする。
- 4. そのほか、御自由に御意見をお願いします。**
- 大阪は住みやすい都市世界ランキング3位。瀬戸内海は今年行ってみたいところ世界7位。
その特長を十分発揮できるような計画。
関西人のうち大阪が住みやすい都市ランキング世界3位であることを知る人は少ない。この事実とあわせて瀬戸内海の順位についても、まず関西人に自覚して頂く。その上で、美しい瀬戸内海を案内するためにも関空⇄淡路島⇄EXPO 会場を船で繋ぎ、会場の延長線また観光クルージングエリアとしてはどうか。夢洲に大型客船が着けられるようにすれば I R でも役立つ。食文化も印象に残る大きな要素で、関西のあらゆるエリアでご当地を楽しめる企画があれば、もっと楽しく印象深いはず。日本酒や日本料理が世界で注目され始めている今、出汁文化や酒文化についてのご当地事情、更になぜ健康に良いのか等日本の食の深い知識や、世界でも珍しい家庭料理の種類の高さを伝え、実際に味わって頂ける場をあちらこちらに提供するの也不错。当たり前だと思っている事が、いかに非当たり前かを自覚し、自分たちの気付いていない宝物を世界に知って頂くのとあわせて、あらためて関西人自身が自負を持って生活できることを目指す。全員参加を目標に、何かに参加して頂く事を目指したい。